

実施過程	実施内容・要点	時間 60分	プレゼン 進行者の主な指示例・発問例	*留意点 【 】内は使用する資料名
はじめに	<p>◎本校内研修の概略説明</p> <p>1 ねらいの確認</p> <p>(1) 気持ちの伝え方の難しさや相手への配慮の大切さを再確認する。</p> <p>(2) 演習を通して、保護者とのトラブルを未然に防ぐ力を養う。</p> <p>○ウォーミングアップ</p>	10	<p>1 [説明] 今日は「保護者とのトラブルの未然防止」について研修します。</p> <p>2 [説明] 今日のねらいを確認します。今日のねらいは「気持ちの伝え方の難しさや相手への配慮の大切さを再確認する」「演習を通して、保護者とのトラブルを未然に防ぐ力を養う」の2つです。</p> <p>〈指示〉 それでは、研修の前にウォーミングアップをしましょう。「イメージスケッチ」です。これから私が言う通りに絵を描いてください。イメージスケッチですので、細部にこだわらなくて結構です。時間の範囲内で描いていきましょう。用紙の準備はいいですか。では、始めます。『道路の脇に一軒の家が建っています。(数秒待つ) 庭には花が咲いています。(数秒待つ) そこにチョウチョウが飛んできました。(数秒待つ) 道路の向こうからは車がきます。(数秒待つ)』いかがですか。それでは、自分の描いたスケッチを近くの方と見せ合ってみましょう。(数秒待つ) いかがですか。同じ指示で描いたのに、周りの方と違うスケッチになった方もいらっしゃるようです。ちなみに、私はこんなスケッチになりました。(進行者が事前に参加者全員に見えるくらい大きさにペン等で描いておいたスケッチを見せる) 私と同じようなスケッチになった方はいらっしゃいますか。(挙手してもらう) 違ったスケッチになった方はいらっしゃいますか。(挙手してもらう)</p> <p>[説明] 私が言ったことを私のイメージと同じように全ての方にイメージしてもらうのは難しいですね。また、同じ指示を聞いても、人によってイメージしたことが違っていましたね。</p>	<p>*席は、演習の都合上、年齢や経験年数、学年や教科がばらばらになるような3人組を事前に決め、椅子のみを準備する。</p> <p>*机がないため、バインダーがあると研修しやすい。</p> <p>【テキスト資料】</p> <p>*学校の実態と関連づけて、本校内研修のねらいを説明する（具体的事例を入れながら説明できると研修者の必要感が高まる）。</p> <p>*筆記用具（各自）、A4サイズの用紙（一人一枚）を準備する。</p> <p>*ウォーミングアップを通して和やかな雰囲気をつくる。</p>
I 演習	<p>2 4パターンの言葉かけ</p> <p>【事例1】【事例2】</p>	30	<p>3 〈指示〉これからロールプレイを行います。(演習進行案1または2を参照)</p> <p>7 〈指示〉ロールプレイお疲れ様でした。</p>	<p>【演習進行案1 or 2・演習資料1 or 2】</p> <p>*【演習進行案】【演習資料】は1（部活動編）か、2（授業編）のどちらかを選択して行う。</p>
II 説明	<p>3 保護者とのトラブル防止のために</p> <p>(1) 基本的な姿勢</p> <p>①肯定的にみる</p> <p>②リスペクト（尊敬）の気持ちをもつ</p> <p>③相手の気持ちを理解する</p> <p>④心配りをする</p> <p>(2) 心配りのポイント</p> <p>①思い込みを排除する</p> <p>②相手の都合を考慮する</p> <p>③相手の話を十分に聴く</p> <p>④過去のことを持ち出さない</p> <p>⑤Iメッセージで話す</p> <p>⑥具体的な助言をする</p> <p>(3) 普段の生活で大切なこと</p> <p>①生徒との関係づくりをする</p> <p>②学校での様子を保護者に知らせる</p> <p>③当たり前のことを当たり前にする</p>	15	<p>8 [説明] 初めのウォーミングアップでも、今行ったロールプレイでもお気づきのように、先生方の真意を生徒や保護者に伝えるのは大変難しいことです。先生も保護者も生徒を思う気持ちは一緒のはずなのに、両者の思いのずれから大きなトラブルへと発展してしまうケースが多くあります。そのような保護者とのトラブルを防ぐための基本的な姿勢としては、相手を肯定的にみる努力をすることと、相手をリスペクト（尊敬）する気持ちを持つことが大切です。相手を見下したり、もともと話にならないというような態度で接しては、自分の思いを理解してもらえないはずはありません。また、相手の気持ちを理解するように努めることで、より相手の思いが理解できるようになるとともに、相手へ心配りをすることで、自分の思いが大ききづれることなく相手に伝わっていきます。相手への心配りとは、相手に対する配慮、心遣いのことです。相手のためになるように思いやりの心をはたらかせることです。自分のことを真剣に考えてもらって嫌な気持ちになる人は、そうはいないでしょう。相手の存在を認め、対等の人間として大切にしていこうという姿勢で最大限の心配りをするのが保護者とのトラブル防止の基本です。</p> <p>9 [説明] 具体的な心配りのポイントは、</p> <p>①思い込みを排除する→自分が当たり前だと思っていることは本当に正しいのか、善意の押しつけになっていないか、振り返ることが必要です。例えば、生徒には厳しく指導しなければわかってもらえない、これくらいのことで泣くようでは強い選手にはなれない、生徒はいつでも私の助けを必要としている、などです。</p> <p>また、学校として非は非として伝えなくてはいけない場面もあります。その際にも、事実以外のことを臆測で話したり、感情を交えたりして話すのではなく、行動や出来事の事実のみを話しましょう。例えば、「たばこを吸ったのは、きっと家で寂しい思いをしているからですよ」×、「たばこを吸っていたので止めさせました。ポケットにもたばこが入っていたので預かりました」○などです。</p> <p>②相手の都合を考慮する→自分の都合で一方的に呼び出したり、電話をしたりするのはなく、相手の都合も考えましょう。</p> <p>③相手の話を十分に聴く→相手の話を聴くことは、話の基本です。相手にあまり話をさせずに、自分ばかり一方的に話していませんか。自分が話す前に、まずは相手の話を十分に聴きましょう。そうすることで満足感が生まれ、信頼へとつながっていきます。</p> <p>④過去のことを持ち出さない→たとえ過去に原因があっても、過去を変えることはできません。「前にもこんなことがあったから」「あのときこうしておけばよかったの」と言っても、今はそれをどうすることもできません。今できること、これから取り組めることを考えましょう。</p> <p>⑤Iメッセージで話す→「あなたは～」という話し方ではなく、「私は～」という話し方をした方が素直に聞いてもらえます。例えば、「(あなたは) だらしがないね」×、「(私は) ここを片付けてほしいな」○などです。</p> <p>⑥具体的な助言をする→抽象的な助言では意味がありません。相手に分かりやすい言葉で具体的な助言をすることが大切です。例えば、「力になってあげてください」×、「毎朝、起こしてください」○などです。</p> <p>10 [説明] 普段の生活で大切なことは、日頃から生徒とよい関係をつくるように心がけることです。生徒に信頼してもらえれば、生徒を通して保護者への信頼を獲得することにつながります。子どもが学校や先生の対応に満足していれば、保護者も学校や先生に不満を抱くことも少なくなるのではないのでしょうか。何はともあれ、主役は生徒です。生徒との関係づくりにエネルギーを注ぎましょう。また、学校の様子を保護者に知らせることも大切です。保護者に学校での様子を積極的に知らせることで、先生方の熱心さや誠意が伝わるとともに、保護者の安心感や学校への信頼感が高まります。もちろん、生徒の問題点や悪い面ではなく、良い面での様子をたくさん伝えます。「学校からの連絡＝(イコール) 子どもの良くないことばかり」では、保護者も先生と話をしたくなくなってしまうかもしれません。保護者は最大の協力者ですので、敵対するのではなく生徒のために一緒に考えるという姿勢を示しましょう。これまでの話は、特に新しいことではありません。当たり前のことを当たり前に行うことこそが大切なことです。</p>	<p>【テキスト資料】</p> <p>*クラス通信を発刊している先生、部活動での様子を知らせている先生の例（具体名ではなく、一般論で）などを話すとうい。</p> <p>*保護者とのトラブルの未然防止（2）を同時に行う時は、この後に演習「保護者とのトラブルの未然防止」を追加する。</p>
III まとめ	<p>◎活動の振り返り</p> <p>◎進行者のまとめ</p> <p>保護者とのトラブルの未然防止に大切なのは</p> <p>→相手への細やかな（心配り）</p> <p>→普段からの生徒との（関係づくり）</p>	5	<p>11 〈指示〉今日のまとめです。テキスト1ページのまとめの（ ）に今日のキーワードを入れて確認してください。（1分程度時間を取る）</p> <p>12 [説明] 相手に自分の気持ちを誤解なく伝えることは大変難しく、真意を伝えるには相手への細やかな（心配り）が必要です。また、保護者とのトラブルを未然に防ぐためには、普段からの生徒との（関係づくり）も大切です。今日の研修を基に、生徒と良好な関係を築くことはもちろん、保護者とも良好な関係を築き協力して生徒の進路実現を目指していきましょう。</p> <p>(称賛) 今日は、先生方の熱心な取り組みがたいへん印象に残りました。ありがとうございました。</p>	<p>【テキスト資料】</p> <p>*テキストを基にまとめを丁寧に行っていく。</p>

保護者とのトラブルの未然防止（１）

1 ねらいの確認

- (1) 気持ちの伝え方の難しさや相手への配慮の大切さを再確認する。
- (2) 演習を通して、保護者とのトラブルを未然に防ぐ力を養う。

2 演習

演習資料 【事例１】（部活動編）または【事例２】（授業編）「４パターンの言葉かけ」に取り組んでみましょう。

3 保護者とのトラブル防止のために

- (1) 基本的な姿勢
 - ① 肯定的にみる。
 - ② リスペクト（尊敬）の気持ちをもつ。
 - ③ 相手への気持ちを理解する。
 - ④ **心配り**をする。

- (2) 心配りのポイント
 - ① 思い込みを排除する→自分の当たり前は本当に正しいのかをふり返る。
 - ② 相手の都合を考慮する→一方的でなく、相手の都合も考える。
 - ③ 相手の話を十分に聴く→相手の話を聴くことは、話の基本である。
 - ④ 過去のことを持ち出さない→今できること、これから取り組めることを考える。
 - ⑤ Iメッセージで話す→「私は～」という話し方をする。
 - ⑥ 具体的な助言をする→相手に分かりやすい言葉で具体的な助言をする。

- (3) 普段の生活で大切なこと
 - ① 生徒との**関係づくり**をする。
 - ② 学校での様子を保護者に知らせる。
 - ③ 当たり前のことを当たり前にする。

4 まとめ（ ）に本日の研修のキーワードを入れてみましょう

- 保護者とのトラブルの未然防止に大切なのは、相手への細やかな（ ）です。
また、保護者と良好な関係をつくるためには、普段からの生徒との（ ）も大切です。

4 パターンの言葉かけ (部活動編)

パターン 1

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ (パターン 1)
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ C 子の父親役
- ・ 観察者

【事例 1】

A 先生は、B 中学校バレーボール部の顧問です。なかなか勝てなかった B 中学校のバレーボール部は、A 先生が顧問になってから、各種大会で毎回入賞するようになりました。A 先生は学生時代、バレーボールで有名な選手で、自分の指導にも自信をもっています。

C 子は、今年のチームの中心メンバーで、A 先生も特に期待している生徒です。C 子はまだまだ力を伸ばすことができると考えている A 先生は、日頃から C 子への指導に熱心です。

〈パターン 1〉

ある日の練習で、C 子にだらけた態度が見られたので・・・

「やる気がないなら帰れ。できないなら辞めろ」とはっぱをかけました。

A 先生は普段からこのような言葉かけをしています。そんななか、突然 C 子の父親が来校しました。

父：「A 先生はいますか？」

A：「え？どなたですか？」

父：「C 子の父親です」

A：「あ～、C 子のお父さんですか」

父：「あなたが A 先生ですか。うちの C 子が、A 先生に『部活辞めろ』って言われたと言って泣いて帰ってきたんですよ。一生懸命やっている生徒に辞めろってどういうことですか」

A：「いやいや、そんなこと言ってないですよ」

父：「C 子はそう言われたって言ってますよ。それに A 先生はいつも C 子にばかり厳しいって」

A：「C 子がそんなこと言ったんですか。まったく・・・」

父：「うちの C 子が嘘を付いてるとでも言うんですか？」

A：「いえ、私は、C 子が大会も近いのにだらだらしていたので注意したんです」

父：「子どもなんですからちょっと手を抜くときだってあるでしょう？もう学校にも行きたくないって言うてるんですよ。どうしてくれるんですか」

A：「期待していたのにしょうがないですね。チームに一人でもこういう生徒がいるとチーム全体の雰囲気が悪くなってしまいますからね。まあ、今後どうするかは本人次第なので、ご家庭で話し合ってください」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の C 子への影響は？

4 パターンの言葉かけ (部活動編)

パターン 2

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ (パターン 2)
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ C 子の父親役
- ・ 観察者

【事例 1】

A 先生は、B 中学校バレーボール部の顧問です。なかなか勝てなかった B 中学校のバレーボール部は、A 先生が顧問になってから、各種大会で毎回入賞するようになりました。A 先生は学生時代、バレーボールで有名な選手で、自分の指導にも自信をもっています。

C 子は、今年のチームの中心メンバーで、A 先生も特に期待している生徒です。C 子はまだまだ力を伸ばすことができると考えている A 先生は、日頃から C 子への指導に熱心です。

〈パターン 2〉

ある日の練習で、C 子にだらけた態度が見られたので・・・

「どうした？ なんだか、今日はやる気が出ないみたいけど。どこか調子でも悪いのか？」と声を掛けました。特に体調が悪いわけではないことを確認したので、「大会まで、あと一週間だぞ。チームの中心の C 子が今のような態度では、先生は心配だな。せっかくやるなら、勝ちたいと思わないか？ 先生は、お前たちを勝たせたいな。もう少し頑張ってみないか」と話しました。

A 先生は普段からこのような言葉かけをしています。
数日後、大会があり、C 子の父親が応援に来ていました。

A : 「こんにちは。C 子さんのお父さんですか。初めまして、顧問の A です。応援に来てくださったんですね。ありがとうございます。C 子さん、チームの中心的な立場で頑張っていますよ」

父 : 「いや～、お父さんは来なくていい、なんて言われたんですけど、今日休みだったものですから」

A : 「お休みの日にお疲れ様です。C 子さん、そんなこと言ったんですか？ (笑) そう言えば、一週間くらい前に C さんが練習中になんとかやる気なさそうだったので、どうしたんだ？ って話をしたんですよ」

父 : 「そうだったんですか」

A : 「はい。でも、その後は頑張ってやっているので励ましていきたいと思います。お父さん、また、ぜひ応援にいらっしゃってください」

父 : 「はい、また伺います。ご面倒をおかけしますが、今後ともよろしく申し上げます」

A : 「こちらこそ、よろしく申し上げます」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の C 子への影響は？

4 パターンの言葉かけ (部活動編)

パターン 3

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ (パターン 3)
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ C 子の父親役
- ・ 観察者

【事例 1】

A 先生は、B 中学校バレーボール部の顧問です。なかなか勝てなかった B 中学校のバレーボール部は、A 先生が顧問になってから、各種大会で毎回入賞するようになりました。A 先生は学生時代、バレーボールで有名な選手で、自分の指導にも自信をもっています。

C 子は、今年のチームの中心メンバーで、A 先生も特に期待している生徒です。C 子はまだまだ力を伸ばすことができると考えている A 先生は、日頃から C 子への指導に熱心です。

〈パターン 3〉

ある日の練習で、C 子にだらけた態度が見られたので・・・

「やる気がないなら、外に出てろ。けがするぞ」と注意しました。

C 子はコートの外に出て、その後は練習を見ていました。A 先生は、他の生徒の練習もあるので後で C 子と話をしようと思っていたのですが、話ができないまま C 子は帰ってしまいました。

次の日、C 子は部活動を欠席し、夕方、C 子の父親が来校しました。

父：「バレーボール部の顧問は？」

A：「顧問は私ですが・・・」

父：「あなたですか。C 子のこと練習から外したのは？」

A：「あ、C 子さんのお父さんですか？ こんばんは。A です」

父：「練習させないってどういうことですか？」

A：「C さんが『練習させてもらえない』って言ったんですか？」

父：「そうですね。うちの子はバレーボールが大好きなのに、練習ができなくなったと言ってショックを受けているんですよ」

A：「そうでしたか。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。実は、練習中に気が抜けた態度だったので、けがすると思ったものですから、コートから外れているように言ったんです。うちのチームの要の C さんにけがをされたら困りますからね。昨日のうちに C さんにきちんと話をすれば C さんもお父さんも心配することはなかったのに。申し訳ありませんでした」

父：「先生なんだから、ちゃんと話してもらわないと困ります」

A：「そうですね。これからは余計なご心配をおかけしないように気をつけます。明日私からも C さんに話します。わざわざお話しに来てくださってありがとうございます」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の C 子への影響は？

4 パターンの言葉かけ (部活動編)

パターン 4

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ (パターン 4)
- (3) グループでの振り返り
- (4) 全体での振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ C 子の父親役
- ・ 観察者

【事例 1】

A 先生は、B 中学校バレーボール部の顧問です。なかなか勝てなかった B 中学校のバレーボール部は、A 先生が顧問になってから、各種大会で毎回入賞するようになりました。A 先生は学生時代、バレーボールで有名な選手で、自分の指導にも自信をもっています。

C 子は、今年のチームの中心メンバーで、A 先生も特に期待している生徒です。C 子はまだまだ力を伸ばすことができると考えている A 先生は、日頃から C 子への指導に熱心です。

〈パターン 4〉

ある日の練習で、C 子にだらけた態度が見られたので・・・

「どうした？ なんだか、今日はやる気が出ないみたいだけど。どこか調子でも悪いのか？」と声を掛けました。

A 先生は普段からこのような言葉かけをしています。
数日後、大会があり、C 子の父親が応援に来ていました。

父：「A 先生ですか？ C 子の父親です。いつも C 子がお世話になって
います」

A：「あ、C 子さんのお父さんですか。初めまして、顧問の A です。
こちらこそ、お世話になってます。C 子さん、いつも頑張っ
てますよ。」

父：「バレーボールは大好きで、小学校からやってるんですよ」

A：「そうなんですか。小学校からやってたせいか、基礎がしっかり
できていて、これから、もっともっと伸びる可能性があっ
て楽しみですよ」

父：「先生にそう言ってもらえると、私も嬉しいです。C 子も、いつ
も A 先生にはいろいろ教えてもらってるって、A 先生のことを
とても信頼しているみたいなんです」

A：「それはよかったです。私も精一杯やらさせていただきます。部活
で何か困ったことがありましたら、いつでも言ってください」

父：「ありがとうございます。何かありましたら、先生に相談します」

A：「今日はお父さんに応援してもらって、C 子さんも喜んでい
ると思いますよ。また、ぜひ応援にいらっしゃってください」

父：「はい、また伺います。今後ともよろしくお願いします」

A：「こちらこそ、よろしくお願いします」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の C 子への影響は？

4 パターンの言葉かけ（授業編）

パターン1

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ（パターン1）
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A先生役
- ・ C男の父親役
- ・ 観察者

【事例2】

A先生は、B組の国語担当教師です。A先生は、生徒の学力向上のため、いつも熱心に授業の準備をし、教室に向かいます。

B組の生徒のC男は、勉強は苦手で、成績もあまりいい方ではありません。やる気にさえなれば、もう少し成績も上がるのではないかとA先生は思っているのですが、提出物もほとんど出さず、日頃からやる気のない態度が目立ちます。

〈パターン1〉

ある日の授業で、C男にやる気のない態度が見られたので・・・

「高校に行く気あんのか。でも、お前が行ける高校はないな。」と言いました。

A先生は普段からこのような言葉かけをしています。そんななか、突然C男の父親が来校しました。

父：「A先生はいますか？」

A：「え？どなたですか？」

父：「C男の父親です」

A：「あ～、C男のお父さんですか」

父：「あなたがA先生ですか。うちのC男が、A先生に行ける高校はないって言われたと言って帰ってきたんですよ。高校に行けないってどういうことですか」

A：「いやいや、そんなこと言ってないですよ」

父：「C男はそう言われたって言ってますよ。それにA先生はいつもC男ばかり怒るって」

A：「C男がそんなこと言ったんですか。まったく・・・」

父：「うちのC男が嘘を付いてるとでも言うんですか？」

A：「いえ、私は、C男がテストも近いのに授業中全くやる気がなかったのが注意したんです」

父：「そういう子どもを何とかしてくれるのが先生なんじゃないんですか？C男は、もう学校にも行きたくないって言うてるんですよ。そういうのは言葉の暴力なんじゃないですか」

A：「C男のために言ったのにしょうがないですね。高校に入るためには、もっと努力しないと。現実には甘くないですからね。まあ、将来のことは、ご家庭で考えてください」

《振り返りの視点》

- ☆ A先生の言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A先生の気持ちは？
- ☆ 父親とA先生の関係は？
- ☆ 今後のC男への影響は？

4 パターンの言葉かけ（授業編）

パターン2

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ〈パターン2〉
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A先生役
- ・ C男の父親役
- ・ 観察者

【事例2】

A先生は、B組の国語担当教師です。A先生は、生徒の学力向上のため、いつも熱心に授業の準備をし、教室に向かいます。

B組の生徒のC男は、勉強は苦手で、成績もあまりいい方ではありません。やる気にさえなれば、もう少し成績も上がるのではないかとA先生は思っているのですが、提出物もほとんど出さず、日頃からやる気のない態度が目立ちます。

〈パターン2〉

ある日の授業で、C男にやる気のない態度が見られたので・・・

「どうした？なんだか、今日はやる気が出ないみたいけど。どこか調子でも悪いのか？」と声を掛けました。特に体調が悪いわけではないことを確認したので、「テストまで、あと一週間だぞ。そろそろ入試のことも考えなくてはいけない時期だし、今のような態度では、先生は心配だな。先生は、C男の希望する高校に入ってもらいたいな。もう少し頑張ってみないか」と話しました。

A先生は普段からこのような言葉かけをしています。
数日後、授業参観があり、C男の父親が来校しました。

- A：「こんにちは。C男くんのお父さんですか。初めまして、国語科のAです。授業参観に来てくださったんですね。ありがとうございます」
- 父：「いや～、お父さんは来なくていい、なんて言われたんですけど、今日休みだったものですから」
- A：「お休みの日にお疲れ様です。C男くん、そんなこと言ったんですか？(笑) そう言えば、この間C男くんが授業中になんだかやる気がなさそうだったので、どうしたんだ？って話をしたんですよ。高校入試のこともありますし、少し心配になったものですから」
- 父：「そうだったんですか」
- A：「はい。でも、その後は頑張っているのを励ましていきたいと思います。お父さん、また、ぜひいらっしゃってください」
- 父：「はい、また伺います。ご面倒をおかけしますが、今後ともよろしく申し上げます」
- A：「こちらこそ、よろしく申し上げます」

《振り返りの視点》

- ☆ A先生の言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A先生の気持ちは？
- ☆ 父親とA先生の関係は？
- ☆ 今後のC男への影響は？

4 パターンの言葉かけ (授業編)

パターン 3

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ (パターン 3)
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ C 男の父親役
- ・ 観察者

【事例 2】

A 先生は、B 組の国語担当教師です。A 先生は、生徒の学力向上のため、いつも熱心に授業の準備をし、教室に向かいます。

B 組の生徒の C 男は、勉強は苦手で、成績もあまりいい方ではありません。やる気にさえなれば、もう少し成績も上がるのではないかと A 先生は思っているのですが、提出物もほとんど出さず、日頃からやる気のない態度が目立ちます。

〈パターン 3〉

ある日の授業で、C 男にやる気のない態度が見られたので・・・

「なんだその態度は。やりたくないなら廊下に出て
いていいんだぞ」と注意しました。

C 男は教室を出ていき、その後すぐ休み時間になってしまいました。A 先生は、他のクラスの授業もあるので後で C 男と話をしようと思っていたのですが、話ができないまま C 男は帰ってしまいました。

次の日、C 男は学校を欠席し、夕方、C 男の父親が来校しました。

父：「A 先生は？」

A：「A は私ですが・・・」

父：「あなたですか。C 男のこと教室から追い出したのは？」

A：「あ、C 男くんのお父さんですか？ こんばんは。A です。C 男くんが追い出されたって言ったんですか？」

父：「そうですよ。先生にそんなこと言われて、うちの子はショックを受けているんですよ」

A：「そうでしたか。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。実は、昨日の授業中の態度が気になったものですから、きちんとして欲しいと思い注意したんです。テストも近いですからね。昨日のうちに C 男くんきちんと話をすれば C 男くんもお父さんも、こんなに心配することはなかったですよ。申し訳ありませんでした」

父：「先生なんだから、ちゃんと話してもらわないと困ります」

A：「そうですね。これからは余計なご心配をおかけしないように気をつけます。明日私からも C 男くんに話します。わざわざお話しに来てくださってありがとうございました」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の C 男への影響は？

4 パターンの言葉かけ (授業編)

パターン 4

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ (パターン 4)
- (3) グループでの振り返り
- (4) 全体での振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ C 男の父親役
- ・ 観察者

【事例 2】

A 先生は、B 組の国語担当教師です。A 先生は、生徒の学力向上のため、いつも熱心に授業の準備をし、教室に向かいます。

B 組の生徒の C 男は、勉強は苦手で、成績もあまりいい方ではありません。やる気にさえなれば、もう少し成績も上がるのではないかと A 先生は思っているのですが、提出物もほとんど出さず、日頃からやる気のない態度が目立ちます。

〈パターン 4〉

ある日の授業で、C 男にやる気のない態度が見られたので・・・

「どうした？ なんだか、今日はやる気が出ないみたいけど。どこか調子でも悪いのか？」と声を掛けました。

A 先生は普段からこのような言葉かけをしています。
数日後、授業参観があり、C 男の父親が来校しました。

父：「A 先生ですか？ C 男の父親です。いつも C 男がお世話になって
います」

A：「あ、C 男くんのお父さんですか。初めまして、国語科の A です。
こちらこそ、お世話になってます。C 男くんは、登場人物の
感情を深いところまで考えられるので、いつも感心させられる
んですよ。」

父：「そうですね。C 男は、勉強が苦手家で勉強しているところな
んて見たことはありませんよ」

A：「そうなんですか。じゃあ、家庭でも勉強したら、もっともっと
伸びる可能性があって楽しみですね」

父：「先生にそう言ってもらえると、私も嬉しいです。C 男も、いつ
も A 先生にはいろいろ教えてもらってるって、A 先生のことを
とても信頼しているみたいなので」

A：「それはよかったです。私も精一杯やらさせていただきます。何か
困ったことがありましたら、いつでも言ってください」

父：「ありがとうございます。何かありましたら、先生に相談します」

A：「今日はお父さんに来てもらって、C 男くんも喜んでいてと思い
ますよ。また、ぜひいらっしゃってください」

父：「はい、また伺います。今後ともよろしく願います」

A：「こちらこそ、よろしく願います」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の C 男への影響は？

4 パターンの言葉かけ（部活動編）

〈準備物〉

- ・タイマー（進行者用）
- ・演習資料 1（各自）

ロールプレイの進め方の説明（6分）

- ・「これからロールプレイを行います。演習資料 1 『4 パターンの言葉かけ（部活動編）』をご覧ください」
- ・「あらかじめお願いしていた 3 人組でロールプレイを行っていただきます」
- ・「最初に、役割分担をします。A 先生役、C 子の父親役、観察者です。今日の演習では、この 3 つの役を全て体験してもらいます。まず、初めの演習での役割を決めてください。（様子を見て）決まりましたか。それでは、役割を確認します。（挙手してもらおう）A 先生役の方？C 子の父親役の方？観察者の方？ありがとうございます。椅子はグループで話し合って、話しやすいようにご自由に動かしていただいて構いません」
- ※ ロールプレイなので、役割は性別にこだわらなくてよい。
- ・「それでは、事例 1 とパターン 1、パターン 2、パターン 3、パターン 4 に目を通してください」（様子を見て）
- ・「確認ですが、前提として、A 先生は部活動の指導に関してとても熱心です。そして、C 子を嫌っているというわけではありません」
- ・「質問はありませんか」



ロールプレイ〈パターン 1〉（2分）

- ・「まず初めは、パターン 1 でロールプレイを行います。ロールプレイですから、できるだけその役になりきって演じてください。本気で演じることで、お互いがどのように感じるかわかると思います」
- ・「時間は 2 分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り（2分）

- ・「次は、振り返りを行います。演習資料 1 の下の方にある振り返りの視点（A 先生という言葉かけ、父親の気持ち、A 先生の気持ち、父親と A 先生の関係、今後の C 子への影響）を参考に、グループで感じたこと、気付いたことを話してください」
- ・「時間は 2 分です。特定の方だけが話すのではなく、3 人がバランスよく話せるようにしてください。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができていないグループを見つけておく。
- ・「時間です」



演習進行案 1 (進行者用)

ロールプレイ〈パターン2〉(2分)

- ・「次は、パターン2でロールプレイを行います。役割は先ほどと同じです。実際に起こりうると考え、できるだけ本気で演じてください」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」(2分)
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り(2分)

- ・「振り返りを行います。振り返りの視点は先ほどと同じです。先ほどと同じように、感じたこと、気付いたことを話してください。また、パターン1との違いについても話してみてください」
- ・「時間は2分です。では、どうぞ」
- ※ グループを回って、よい振り返り(テキスト資料の「3(2)心配りのポイント」、
「3(3)普段の生活で大切なこと」に添う内容)ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



ロールプレイ〈パターン3〉(2分)

- ・「次に、パターン3でロールプレイを行います。今度は、役割を交替します。今までの役割とは替えて、A先生役、C子の父親役、観察者を決めてください。(様子を見て)決まりましたか」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」(2分)
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り(2分)

- ・「振り返りを行います。パターン1、2との違いも交えながら、先ほどと同じように振り返りを行ってください」
- ・「時間は2分です。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り(テキスト資料の「3(2)心配りのポイント」、
「3(3)普段の生活で大切なこと」に添う内容)ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



ロールプレイ〈パターン4〉(2分)

- ・「最後は、パターン4でロールプレイを行います。役割を交替して、今までやっていない役で行います」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」(2分)
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り (2分)

- ・「振り返りを行います。時間は2分です。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り(テキスト資料の「3(2)心配りのポイント」、
「3(3)普段の生活で大切なこと」に添う内容)ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



全体での振り返り (3分)

- ・「各グループのパターン1～4の振り返りで話題になったことを、どなたか発表していただけますか」
- ・「それでは、〇〇先生お願いします」
- ※ テキスト資料の「3(2)心配りのポイント」、「3(3)普段の生活で大切なこと」に添う内容は、特に取り上げて確認する。
例えば・・・
 - 「パターン1だとA先生の本当に言いたいことが伝わっていないよね」
 - 「パターン1のように言われたらお父さんも頭にくるよな」
 - 「パターン1は、A先生は自分の思いだけで話していて、父親の意見を聴こうとしていないよね」
 - 「パターン1のような言い方だと当然、関係は悪くなるよね」
 - 「せっかく熱心にやっても、A先生の思いがきちんと伝わらないと一生懸命さも無駄になってしまうよね」
 - 「パターン2のようになるためには、普段の生徒との関わりが大切だよな」
 - 「今までの私はパターン1でやってきたな。パターン2がよいのは分かっているのだけれど、どうしたらいいのかな」
 - 「パターン4だとお互い気持ちいいね」
 - 「パターン3では、『心配をかけた』ということについては、自分の非を認めているよね」
- ※ 全体での振り返り(3分)に収まるように時間を考えて、数名に聞く。
- ※ 研修者から自発的な発表がない場合やテキスト資料に添う内容が出ない場合は、進行者が見取った、よい振り返りをしていたグループを指名して話してもらう。
(発表のあと、研修者の発表を基にまとめる)
- ・「ありがとうございます。パターン1のような関係になってしまうと、その後なかなかうまくいきませんよね。パターン2、3、4のような関係だとよいですね。パターン2では、私はこう思うというようなIメッセージで話していますね。パターン3では、指導は当然行わなければならないものとしていながらも、相手に心配をかけてしまったという心理的事実に関する謝罪は行っていますね。パターン4では、相手の立場に立って、心配したり、労ったりしていますね」

4 パターンの言葉かけ（授業編）

〈準備物〉

- ・タイマー（進行者用）
- ・演習資料2（各自）

ロールプレイの進め方の説明（6分）

- ・「これからロールプレイを行います。演習資料2『4パターンの言葉かけ（授業編）』をご覧ください」
- ・「あらかじめお願いしていた3人組でロールプレイを行っていただきます」
- ・「最初に、役割分担をします。A先生役、C男の父親役、観察者です。今日の演習では、この3つの役を全て体験してもらいます。まず、初めの演習での役割を決めてください。（様子を見て）決まりましたか。それでは、役割を確認します。（挙手してもらおう）A先生役の方？C男の父親役の方？観察者の方？ありがとうございます。椅子はグループで話し合っ、話しやすいようにご自由に動かしていただいて構いません」
- ※ ロールプレイなので、役割は性別にこだわらなくてよい。
- ・「それでは、事例2とパターン1、パターン2、パターン3、パターン4に目を通してください」（様子を見て）
- ・「確認ですが、前提として、A先生は指導に関してとても熱心です。そして、C男を嫌っているというわけではありません」
- ・「質問はありませんか」



ロールプレイ〈パターン1〉（2分）

- ・「まず初めは、パターン1でロールプレイを行います。ロールプレイですから、できるだけその役になりきって演じてください。本気で演じることで、お互いがどのように感じるかわかると思います」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り（2分）

- ・「次は、振り返りを行います。演習資料2の下の方にある振り返りの視点（A先生の言葉かけ、父親の気持ち、A先生の気持ち、父親とA先生の関係、今後のC男への影響）を参考に、グループで感じたこと、気付いたことを話してください」
- ・「時間は2分です。特定の方だけが話すのではなく、3人がバランスよく話せるようにしてください。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができていないグループを見つけておく。
- ・「時間です」



演習進行案2（進行者用）

ロールプレイ〈パターン2〉（2分）

- ・「次は、パターン2でロールプレイを行います。役割は先ほどと同じです。実際に起こりうると考え、できるだけ本気で演じてください」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。振り返りの視点は先ほどと同じです。先ほどと同じように、感じたこと、気付いたことを話してください。また、パターン1との違いについても話してみてください」
- ・「時間は2分です。では、どうぞ」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



ロールプレイ〈パターン3〉（2分）

- ・「次に、パターン3でロールプレイを行います。今度は、役割を交替します。今までの役割とは替えて、A先生役、C男の父親役、観察者を決めてください。（様子を見て）決まりましたか」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。パターン1、2との違いも交えながら、先ほどと同じように振り返りを行ってください」
- ・「時間は2分です。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



ロールプレイ〈パターン4〉（2分）

- ・「最後は、パターン4でロールプレイを行います。役割を交替して、今までやっていない役で行います」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。時間は2分です。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



全体での振り返り（3分）

- ・「各グループのパターン1～4の振り返りで話題になったことを、どなたか発表していただけますか」
- ・「それでは、〇〇先生お願いします」
- ※ テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容は、特に取り上げて確認する。
例えば・・・
 - 「パターン1だとA先生の本当に言いたいことが伝わっていないよね」
 - 「パターン1のように言われたらお父さんも頭にくるよな」
 - 「パターン1は、A先生は自分の思いだけで話していて、父親の意見を聴こうとしていないよね」
 - 「パターン1のような言い方だと当然、関係は悪くなるよね」
 - 「せっかく熱心にやっても、A先生の思いがきちんと伝わらないと一生懸命さも無駄になってしまうよね」
 - 「パターン2のようになるためには、普段の生徒との関わりが大切だよな」
 - 「今までの私はパターン1でやってきたな。パターン2がよいのは分かっているのだけれど、どうしたらいいのかな」
 - 「パターン4だとお互い気持ちいいね」
 - 「パターン3では、『心配をかけた』ということについては、きちんと自分の非を認めているよね」
- ※ 全体での振り返り（3分）に収まるように時間を考えて、数名に聞く。
- ※ 研修者から自発的な発表がない場合やテキスト資料に添う内容が出ない場合は、進行者が見取った、よい振り返りをしていたグループを指名して話してもらう。
（発表のあと、研修者の発表を基にまとめる）
- ・「ありがとうございます。パターン1のような関係になってしまうと、その後なかなかうまくいきませんよね。パターン2、3、4のような関係だとよいですね。パターン2では、私はこう思うというようなIメッセージで話していますね。パターン3では、指導は当然行わなければならないものとしていながらも、相手に心配をかけてしまったという心理的事実に関する謝罪は行っていますね。パターン4では、相手の立場に立って、心配したり、労ったりしていますね」

〈引用・参考文献一覧〉

◇ ” 困った親” への対応 こんなときどうする？

嶋崎政男著
(2005年 ほんの森出版)

◇ 保護者との関係に困った教師のために

小林正幸・有村久春・青山洋子編著
(2004年 ぎょうせい)